

Vue CLI でアプリを開発する場合の基本(ts で書き込む場合)

1.App.vue が一番上の親コンポーネント(恐らく src の直下にある Vue ファイルが一番上の親コンポーネントになる。)

これを中心に処理を書いていく

2.それ以下の子コンポーネントは src 内の components ファイルの中にある。

出来れば上から順に親コンポーネントに近い順に並べていく。

3 子コンポーネントはスクリプトを描き始める前に main.ts 内で定義した Vue を継承してからクラスの定義を始める。

4.親コンポーネントの方ではスクリプト内に子コンポーネントのパスを@/から書いて読み込んでおく。その後扱う為のタグ名を決める。

template 内で使うタグ名を決める。

5.@prop・・・扱う情報関係。@Emit・・・扱う関数関係